

令和2(2020)年度 学生募集要項

一般入試 A方式・B方式

入学試験日程等	1
一般入試は簡単で安心なWeb出願!	2
一般入試A方式のポイント	3～4
一般入試B方式のポイント	5
募集人員	6
アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)	7～10
出願要件	11～12
一般入試A方式I期・II期	入学者選抜の基本方針/選考方法/選考日程
	試験科目
	試験当日の注意事項
	試験場(千代田キャンパス)
一般入試B方式I期・II期	入学者選抜の基本方針/選考方法/選考日程
	試験科目
一般入試A方式、B方式I期・II期共通	
出願手続	22～23
出願上の注意事項/障がい等のある方への受験・修学上の配慮について/Web受験票の確認	24～26
合格発表	27
追加合格/入学手続/よくあるご質問	28～30
入学手続時納入金・学費等	31
学生寮等	32
家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ	33
人間関係学部人間福祉学科を受験する方へ/カリキュラム改正について/	
入学予定者への課題・プレイスメントテストについて	34
災害により被災した入学志願者に対する特別措置について/履修地	35



大妻女子大学

大妻女子大学短期大学部

入学試験日程等

■一般入試A方式

入試種別・方式	A方式Ⅰ期		A方式Ⅱ期
出願期間	令和2年1月6日(月)～1月20日(月) 当日消印有効		令和2年2月7日(金)～2月20日(木) 当日消印有効
Web受験票発表日	令和2年1月24日(金)～2月12日(水)		令和2年2月23日(日)～3月12日(木)
試験日	令和2年2月1日(土)、2月2日(日)		令和2年3月2日(月)
	詳細は13ページを参照		
試験場	千代田キャンパス		
合格発表日	令和2年2月5日(水)	文学部	令和2年3月6日(金)
	令和2年2月6日(木)	家政学部 社会情報学部 人間関係学部 比較文化学部 短期大学部	
入学手続締切日	令和2年2月12日(水)		令和2年3月12日(木)

■一般入試B方式

入試種別・方式	B方式Ⅰ期		B方式Ⅱ期
出願期間	令和2年1月6日(月)～1月22日(水) 当日消印有効		令和2年2月7日(金)～2月22日(土) 当日消印有効
Web受験票発表日	令和2年1月27日(月)～2月13日(木)		令和2年2月27日(木)～3月12日(木)
試験日	令和2年度大学入試センター試験 (本学での学力試験は行いません)		
試験場			
合格発表日	令和2年2月7日(金)		令和2年3月6日(金)
入学手続締切日	令和2年2月13日(木)		令和2年3月12日(木)

大学案内、入試ガイドをお持ちでない方へ

大学案内2020、入試ガイド2020をお持ちでない方は、本学ホームページの資料請求フォームを利用し、お取り寄せください。無料でお送りします。なお、同ページの電子ブックでもご覧になれます。

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。ただし、入試結果について、在籍(出身)高等学校の進学指導のための情報として通知することもあります。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応は、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <http://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター(千代田) tel. 03-5275-0404

一般入試は簡単で安心な Web出願!

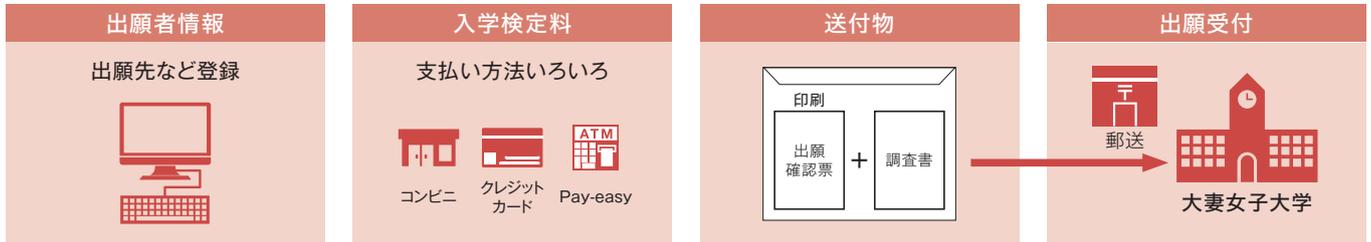
大妻女子大学ホームページ

▶ 入試・入学

▶ Web出願

一般入試A方式・B方式(大学入試センター試験利用)は「Web出願」のみになります。

インターネットの環境さえあれば、いつでもどこからでも出願できます。



Web出願から試験当日の流れ

STEP 1 Web出願サイトにアクセス

本学ホームページ「入試・入学」の「Web出願」ページ上部の「Web出願サイト」(<https://sak-sak.net/app/owu/>) ボタンからアクセスしてください。

STEP 2 出願に必要な情報を登録

画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を確認してください。

STEP 3 入学検定料の振り込み

入学検定料の支払方法を選択し、支払手続を行ってください。

STEP 4 提出書類の印刷

「出願確認票」と「宛名ラベル」を必ず印刷してください。

プリンターをお持ちでない方

出願確認票を一旦、PDFで保存し、プリンターがある環境で印刷してください。

支払いについて

【クレジットカード支払いの場合】

- ① “クレジットカードでお支払い” を選択
- ② 支払い
- ③ 出願確認票と宛名ラベルを印刷

【クレジットカード支払い以外の場合】

- ① “コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easyでお支払い” を選択
- ② 出願確認票と宛名ラベルを印刷
- ③ 支払い

STEP 5 提出書類の送付

入学検定料の支払い後、宛名ラベルを貼った封筒に提出書類一式を入れ、出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達」で郵送してください。
※29ページのQ2も参照してください。

STEP 6 出願完了

出願手続は完了です。

A方式のWeb受験票確認の際、出願登録時の「ユーザID」と「パスワード」が必要ですので、大切に保管してください。

※複数の「ユーザID」で出願登録された方は、最後に登録したものでログインしてください。

STEP 7 Web受験票の確認

A方式Ⅰ期：令和2年1月24日～2月12日

A方式Ⅱ期：令和2年2月23日～3月12日

B方式Ⅰ期：令和2年1月27日～2月13日

B方式Ⅱ期：令和2年2月27日～3月12日

上記の期間に、24～26ページに従って、受験票を確認してください。

STEP 8 Web受験票の印刷（A方式のみ）

STEP7で確認した受験票を、A4サイズで印刷してください。

STEP 9 試験当日（A方式のみ）

STEP8で印刷した受験票を持参し、いざ試験に挑んでください!!

入学検定料の支払方法

- クレジットカード
Master card, VISA
- 銀行
*ATMの場合 Pay-easy
*ネットバンキングの場合 じぶん銀行、ジャパンネット銀行、楽天銀行、Pay-easy
- コンビニエンスストア
セイコーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン

提出書類

- 出願確認票 (STEP4で印刷した書類)
【一般入試A方式】顔写真を必ず所定欄に貼付してください。
【一般入試B方式】令和2大学入試センター試験成績請求票 (私立大学・公私立短期大学用) を必ず所定欄に貼付してください。
- 調査書等の提出書類は出願要件によって異なります。必ず募集要項掲載の「出願要件を証明する書類等」(11ページ)を確認し、提出してください。

一般入試
A方式Ⅰ期
A方式Ⅱ期

一般入試 A方式のポイント

- ① 本学独自の学力試験です。
Ⅰ期は、学力試験の成績、調査書等を総合して合否を判定します。
Ⅱ期は、学力試験の成績、面接（一部の学科・専攻）、調査書等を総合して合否を判定します。
- ② 「Ⅰ期（試験日 2/1、2/2）」「Ⅱ期（試験日 3/2）」があります。
- ③ Ⅰ期は、各学科・専攻が指定する選択科目を必要科目数以上受験した場合、高得点の科目で判定します。
- ④ 試験場は、全ての学科・専攻とも千代田キャンパスです。
- ⑤ 一般入試 B方式（大学入試センター試験利用）Ⅰ期・Ⅱ期にも出願できます。

I期 試験日が同じ学科・専攻に複数出願できる！

◎ 出願した学科・専攻が指定する試験科目（出題分野）を全て解答すると、出願した学科・専攻ごとに合否がでます。

例) 2/2 に、情報デザイン専攻、比較文化学科、短大家政科生活総合ビジネス専攻を受験する場合

ステップ1 試験科目を確認する（14・15 ページ参照）

【記号の見方】

★＝必ず受験（必須科目） □＝いずれか1科目を受験（選択科目）

（□は、時限が異なれば2科目受験が可能。その場合は高得点の科目で判定）

学科・専攻	合格判定に用いる科目数と組み合わせ	満点	1時限 9:30～10:30		2時限 11:20～12:20	3時限 13:30～14:30				
			国語 (100点) 国語総合		英語 (100点)	理科、地理歴史、数学 (100点)				
			現代文①	現代文②		化学	生物	日本史 B	世界史 B	数学
情報デザイン専攻	2(□と★)	200	□	現代文① 現代文②	★	□	□	□	□	□
比較文化学科	2(□と★)	200	□	現代文①	古文	★		□	□	
短大家政科生活総合ビジネス専攻	1(□)	100	□	現代文① 現代文②	□					

① 【記号の見方】を見ながら、合格判定に用いる科目数と組み合わせを確認する

② 指定された出題分野を確認する（この場合、現代文①、現代文②、古文の3分野）

③ 出願する学科・専攻が指定する科目を1つ選択する

ステップ2 受験方法を決める

〈例〉

国語			英語	地理歴史			
現代文①	現代文②	古文		-	-	日本史 B	世界史 B
3種類を解答する			解答する	日本史 B または 世界史 B を解答する			
国語と英語で合格判定に用いる科目数を満たします				英語と日本史 B または 世界史 B で合格判定に用いる科目数を満たします			

※ 国語と英語を受けた場合、生活総合ビジネス専攻の合格判定では、高得点の科目が採用されます。

※ 3つの時限とも受けた場合、情報デザイン専攻と比較文化学科の合格判定では、国語と地理歴史から高得点の科目が採用されます。

I 期 試験日が異なる学科・専攻に複数出願できる！

- ◎ それぞれの試験日に、出願した学科・専攻が指定する試験科目（出題分野）を全て解答してください。
- ◎ 社会情報学部、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部は受験日を選択することができます。同じ学科・専攻に2日間とも出願することも、それぞれ学科・専攻を変えて出願することもできます。同じ学科・専攻を2日間とも受験し、2日間とも得点が合格ラインを上回った方には、2通の合格通知書と入学手続き書類が送付されます。
- ◎ 社会情報学部、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部家政科食物栄養専攻は試験日によって試験科目が異なります。（14・15ページ参照）

I 期 複数出願は入学検定料が割引される！

- ◎ 1 回の Web 出願登録ごとの割引制度適用となります。
- ◎ 一度出願したあと、同じ入試方式に追加出願する場合、前回とあわせての割引にはなりません。
- ◎ 一般入試A方式I期、一般入試B方式I期・II期それぞれ別々の割引制度が適用されます。
- ◎ 社会情報学部、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部は2/1、2/2の2日間とも試験を実施します。同一学科・専攻を両日とも出願する場合、入学検定料は2学科・専攻分になります。

A方式I期で複数出願する場合

1学科・専攻35,000円ですが、2学科・専攻目から、1学科・専攻につき20,000円になります。

例) I期2/1の日本文学科に出願	▶ 1学科・専攻分 35,000円	
例) I期2/2の食物学専攻、管理栄養士専攻に出願	▶ 2学科・専攻分 55,000円 (35,000円+20,000円)	15,000円 割引
例) I期2/1の情報デザイン専攻、 2/2の情報デザイン専攻、短大家政科家政専 攻に出願	▶ 3学科・専攻分 75,000円 (35,000円+20,000円+20,000円)	30,000円 割引

複数学科・専攻への出願や、受験についてご不明な点があれば、広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。

一般入試
B方式Ⅰ期
B方式Ⅱ期

一般入試 B方式のポイント

- ① 令和2年度大学入試センター試験の成績と、調査書等を総合して可否を判定します。
本学独自の学力試験はありません。
- ② 「Ⅰ期（合格発表2/7）」「Ⅱ期（合格発表3/6）」があります。
- ③ 出願した学科・専攻が指定する選択科目を必要科目数以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。
- ④ 一般入試 A方式Ⅰ期・Ⅱ期にも出願できます。

Ⅰ期・Ⅱ期

自己採点の後でも出願できる！

- ◎ Ⅰ期の出願締切（郵送・消印有効）は1/22（水）なので、大学入試センター試験の自己採点後でも出願できます。

2020年1月						
月	火	水	木	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
					大学入試センター試験	
20	21	22 B方式Ⅰ期 出願締切	23	24	25	26
27	28	29	30	31	※ B方式Ⅱ期の出願期間は2/7(金) ～2/22(土)（郵送・消印有効）	

Ⅰ期・Ⅱ期

複数出願は入学検定料が割引される！

- ◎ 1回のWeb出願登録ごとの割引制度適用となります。
◎ 一度出願したあと、同じ入試方式に追加出願する場合、前回とあわせての割引にはなりません。
◎ 一般入試 A方式Ⅰ期、一般入試 B方式Ⅰ期・Ⅱ期それぞれ別々の割引制度が適用されます。

B方式で複数出願する場合

1学科・専攻17,000円ですが、2学科・専攻目から、1学科・専攻につき10,000円になります。

例) Ⅰ期で比較文化学科に出願

1学科・専攻分 17,000円

例) Ⅰ期で食物学専攻と管理栄養士専攻に出願

2学科・専攻分 27,000円
(17,000円+10,000円)

7,000円
割引

例) Ⅱ期でライフデザイン学科、環境情報学専攻、
人間福祉学科に出願

3学科・専攻分 37,000円
(17,000円+10,000円+10,000円)

14,000円
割引

例) Ⅰ期で児童学専攻、
Ⅱ期で短大家政科家政専攻に出願

B方式のⅠ期とⅡ期は、出願期間が違うので、
割引の対象になりません。

Ⅱ期

2/22（土）まで出願できる！

- ◎ 試験科目と配点はⅠ期と同様で（20・21ページ参照）、令和2年2月22日（土）まで出願できます。
◎ 次の学科・専攻で募集します。

学部	学科・専攻
家政学部	ライフデザイン学科
文学部	日本文学科、英語英文学科、コミュニケーション文化学科
社会情報学部	社会生活情報学専攻、環境情報学専攻、情報デザイン専攻
人間関係学部	社会学専攻、社会・臨床心理学専攻、人間福祉学科
比較文化学部	比較文化学科
短期大学部	家政科、国文科、英文科

募集人員

大学学部（4年制）

学部・学科・専攻			入学定員	募集人員			
				一般入試 A 方式		一般入試 B 方式 (大学入試センター試験利用)	
				I 期	II 期	I 期	II 期
家政学部	被服学科		110	22	5	8	—
	食物学科	食物学専攻	80	26	—	4	—
		管理栄養士専攻	50	17	—	6	—
	児童学科	児童学専攻	80	22	5	12	—
		児童教育専攻	50	15	8	8	—
ライフデザイン学科		120	20	5	15	5	
文学部	日本文学科		120	20	5	10	5
	英語英文学科		120	35	5	12	3
	コミュニケーション文化学科		120	20	5	15	3
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	22	5	18	5
		環境情報学専攻	100	20	8	25	5
		情報デザイン専攻	100	25	10	20	6
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	80	15	5	8	5
		社会・臨床心理学専攻	80	20	—	10	5
	人間福祉学科		100	13	8	6	4
比較文化学部	比較文化学科		165	40	10	15	5

短期大学部（2年制）

学部・学科・専攻			入学定員	募集人員			
				一般入試 A 方式		一般入試 B 方式 (大学入試センター試験利用)	
				I 期	II 期	I 期	II 期
短期大学部	家政科	家政専攻	90	8	2	4	3
		生活総合ビジネス専攻	70	8	2	3	2
		食物栄養専攻	100	20	3	3	2
	国文科		45	8	3	2	2
	英文科		45	7	3	2	2

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

※「知識・理解」にある科目のすべてを履修していなければ出願できないというわけではありません。

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

1. [知識・理解] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っていること
2. [思考・判断] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っていること
3. [関心・意欲・態度] (1) 各学部が専門としている学問を学び、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っていること
(2) 人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っていること
4. [技能・表現] コミュニケーション力を磨き、グローバルな視点まで獲得して未来を切り開いていく能力を有していること

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

1. [知識・理解] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考・判断] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考えていきたいと思っている。
3. [関心・意欲・態度] 人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
4. [技能・表現] 他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる。

被服学科	被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。 (2) 高等学校で履修する、国語、英語、家庭、数学、化学、日本史、世界史、現代社会、政治経済などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
	2. 思考・判断	物事を多面的かつ論理的に考察することができる。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 被服について関心があり、その専門知識を身に付けたい意欲がある。 (2) 目標の実現に向けて積極的に取り組み、最後までやり遂げる意欲がある。
	4. 技能・表現	自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。
食物学科 食物学専攻	食物学科食物学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2) 読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考・判断	食に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣を身につけている。
	3. 関心・意欲・態度	食と人との関わりに強い関心を持ち、行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
	4. 技能・表現	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
食物学科 管理栄養士専攻	食物学科管理栄養士専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2) 読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考・判断	食と健康に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣が身につけている。
	3. 関心・意欲・態度	管理栄養士としての使命や役割に強い関心を持ち、行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
	4. 技能・表現	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
児童学科 児童学専攻 児童教育専攻	児童学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	各教科等の知識・理解の評価規準を満足する状況に達している。
	2. 思考・判断	子どもを巡る問題を見出し、自分なりの問題意識をもって深く考えることができる。
	3. 関心・意欲・態度	子どもと子どもをめぐり大人に強い関心を持ち、暖かなまなざしで他者と関わろうとする意欲や態度を示すことができる。
	4. 技能・表現	さまざまな体験を通して子どもに関わるだけに必要な基礎的な技能を有している。
ライフデザイン 学科	ライフデザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 高等学校の教育課程を幅広く修得している。 (2) 高等学校での履修内容のうち、特に「国語総合（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身につけている。
	2. 思考・判断	生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができる。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲がある。 (2) 家族関係や地域の人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲がある。 (3) 生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲がある。 (4) 人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲がある。
	4. 技能・表現	高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

1. [知識・理解] 人間と言葉についての基礎的な知識を有している。
2. [思考・判断] 人間と言葉に関する事象を冷静に考え、自らの判断を下すことができる。
3. [関心・意欲・態度] 人間と言葉に関する未知の事象に対する好奇心を持っている。
4. [技能・表現] 自分の知識や意見を表現し、情報を伝達することができる。

日本文学科	日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会の持つ個別性と普遍性を知ることにより、現代に生きる私たちの心の支えを得ることで、自立した女性として将来への大きな力を養おうとする目的意識を持っている。
	2. 思考・判断	自分とは異なる意見を持つ人々の考えを理解する知的寛容さと柔軟さを兼ねそなえると共に、批判的な思考力、判断力を身に付けたいという意欲を持っている。
	3. 関心・意欲・態度	日本文学と日本語を学ぶことにより、日本語表現の多様性を知り、豊かな情操を育成する意欲を持っている。
	4. 技能・表現	日本語運用能力、プレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持っている。
英語英文学科	英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	高校までの学習を通して、英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化の各領域を学ぶための基礎的な知識と理解力を持っている。
	2. 思考・判断・表現	英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化の各領域についての問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる。
	3. 関心・意欲・態度	英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化の各領域が扱うテーマに関心があり、英語力を高めようとする意欲を持っている。
	4. 技能	英語の4技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）全般の基礎的な力をそなえている。
コミュニケーション文化学科	コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	高等学校までの教育課程を適切に修得し、理解している。
	2. 思考・判断・表現	知識や情報を積極的に集め、そこから生まれた自分の考えを的確に表現できる。
	3. 関心・意欲・態度	日本や世界に対して幅広い知的好奇心を持ち続け、大学での学びを卒業後、積極的に社会で役立てたいという意志を持っている。
	4. 技能	高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的な能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる。

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

1. [知識・理解] (1) 大学での修学に必要な、基礎的な学力を有している人。
(2) 社会、環境、情報を理解するための知識を得たい人。
2. [思考・判断] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
3. [関心・意欲・態度] (1) 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学びたい人。
(2) 本学部で培ったことを元に、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。
4. [技能・表現] 自らの考えを他者に伝える技能と表現力を持つ人。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	社会の動きや生活のあり方を理解するための基礎知識がある人。
	2. 思考・判断	社会科学やメディアを学び、社会問題に対する思考と判断力を養いたい人。
	3. 関心・意欲・態度	情報リテラシーを身につけて社会への関心を高め、意欲的な態度で幅広く活躍したい人。
	4. 技能・表現	文章の読解や発表、討論の技能を学び、実践的な問題解決能力を身に付けたい人。
社会情報学科 環境情報学専攻	環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	入学後の修学に必要な基礎的な学力を有している人。
	2. 思考・判断	環境に関する問題意識をもってエコライフを実践できる人。
	3. 関心・意欲・態度	社会や自然のしくみを理解し、暮らしを中心とする身近な環境をデザインしたい人。
	4. 技能・表現	将来、企業や家庭・教育の現場でエコライフを実践し、広めていきたい人。
社会情報学科 情報デザイン専攻	情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 高等学校で履修すべき内容について幅広く理解し、基礎的な知識を身に付けている人。 (2) 高等学校で履修する「国語」・「数学」・「英語」・「地理歴史」・「公民」・「理科」の複数の科目について高等学校修了と同等レベルの学力を有している人。
	2. 思考・判断	(1) 自らの知識をもとに論理的な思考を深めて判断できる人。 (2) 自ら課題を見だし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて判断をくだせる人。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 大学で学んだことを生かして社会で活躍したいと考えている人。 (2) 情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があり、自ら進んで学習する意欲をそなえている人。 (3) ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的に且つ継続的に参加した実績を持つ人。
	4. 技能・表現	自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。
専門課程の基礎科目を無理なく履修するには、入学時までに「数学Ⅰ・数学A」及び「英語表現Ⅰ」の基礎学力を身に付けておくことが重要です。		

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

人間関係学部

人間関係学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

- [知識・理解] 人間関係学部の教育に耐える基礎学力を持っていること。
- [思考・判断] 自らの人生に積極的で、知識や技術の修得に努力を惜しまない人。
- [関心・意欲・態度] (1) 社会学、社会・臨床心理学、社会福祉学を学ぶ意欲を持っていること。
(2) 人々の幸せやより良い社会の実現に寄与する意欲を持っていること。
- [技能・表現] コミュニケーション力を磨き、グローバルな視点に立ち、他者と協力する姿勢を持ちたいと望んでいること。

人間関係学科 社会学専攻	社会学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 高等学校までに十分な基礎学力を身につけている者。 (2) 大学の授業で必要となる、文章の解読、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の学力がある者。 (3) 社会学を学ぶ上で必要となる基礎的な教科の「地理歴史」「公民」の学力がある者。 (4) 社会現象をグローバルな観点から関連付け分析するために必要な「外国語」の学力がある者。
	2. 思考・判断	課題を多角的にとらえ、創造的に考える意志を持っている者。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける者。 (2) 大学で学ぶことに意欲を持っている者。
	4. 技能・表現	人間や社会に対して幅広い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする意欲のある者。
人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	社会・臨床心理学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 高等学校までに十分な基礎学力を身につけている者。 (2) 大学での授業に必要な文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力を身に付けている者。 (3) 心理学的な現象を幅広く学習・分析するための「外国語」の学力がある者。
	2. 思考・判断	心理学を学ぶための「論理的思考」と、心理学には欠かせない「統計学」の修得のための「数学」の基礎学力を身につけている者。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 人間や社会に対して幅広い興味関心を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする意欲のある者。 (2) 意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける者。
	4. 技能・表現	異なった考え方の人の意見を聴く力を持ち、自分の意見を表現できる者。
人間福祉学科	人間福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
	1. 知識・理解	(1) 入学後の修学に必要な基礎学力として、高等学校で履修する国語について高等学校卒業相当の知識を有している者。 (2) 社会福祉を学ぶ上で、地理歴史、公民について高等学校卒業相当の知識を有している者。
	2. 思考・判断	文章での表現力、読解力および記述力を持ち、自分の意思を伝える力を有している者。
	3. 関心・意欲・態度	(1) 身近に発生している福祉に関する問題について深い関心を持ち、その解決に向けて取り組み意欲を持つ者。 (2) 学校での学習や部活動等の経験があり、他の人と協力をとりながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる者。
	4. 技能・表現	(1) ボランティア活動や課外活動の経験があり、他人のために働くことができる者。 (2) グループワーク等を通して、他者と協力しながら円滑なコミュニケーションを行うことができる者。

比較文化学部

比較文化学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

比較文化学科	1. 知識・理解	外国語と外国の歴史・文化の知識と理解。（具体的には「国語」「英語」を基本に、外国文化と日本文化を比較するための基礎となる「世界史」「日本史」）。
	2. 思考・判断	物事を自分で考え、自分の言葉で語る姿勢。
	3. 関心・意欲・態度	意欲的に、多様な人々と協働して学ぶ態度。
	4. 技能・表現	基本的な語学力と論の構成員力。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。

1. [知識・理解] 高校の学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など各学科が指定した科目において基礎学力を身につけている。
2. [思考・判断] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力をそなえている。
3. [関心・意欲・態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲をそなえている。
4. [技能・表現] 短期大学部の授業が理解できる一定以上の学力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。

		家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
家政科	家政専攻	1. 知識・理解	高等学校で「国語」「英語」「数学」「地理歴史」「理科」「家庭」などの基礎学力を身につけている。
		2. 思考・判断	(1) 社会の動きに対する自分の意見をまとめ、わからない文言などを調べる習慣をつけている。 (2) よく考えて自立して行動し、なお誠実で思いやりがある。
		3. 関心・意欲・態度	(1) 生活の基盤である衣・食・住生活、保育、健康、人間関係、環境などに関心がある。 (2) 将来どのような生活を創り上げていくに関心がある。 (3) 社会の動きや日々の生活に興味と関心を示す意欲がある。
		4. 技能・表現	(1) 体験や実学を重視し、専門的・実践的技術、知識、応用力を身につけたい。 (2) 豊かな教養と知性に基づく生活マナーを身につけたい。
	生活総合 ビジネス 専攻	1. 知識・理解	(1) 高校時代の学習で、文章の読解・レポート作成などの「国語」の能力がある。 (2) ビジネスを学ぶ上で必要とされる社会の出来事や仕組みに関する興味と「地理」「政治・経済」の知識がある。 (3) 基礎的な「数学」の能力、「英語」の基本能力がある。
		2. 思考・判断	物事を多面的かつ論理的に考えることができる。
		3. 関心・意欲・態度	(1) 社会で自分の能力を発揮することに強い関心があり、積極的に考えて行動できる。 (2) 生活人として、また、企業人として自立した将来を真剣に考えている。 (3) 他者とのコミュニケーションを前向きに図り、良好な人間関係を築こうとする。
		4. 技能・表現	自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。
	食物栄養 専攻	1. 知識・理解	(1) 高等学校で学ぶ化学・生物が十分に理解できている。 (2) 実務的な計算能力がある。 (3) 聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎的な内容を身につけている。
		2. 思考・判断	身近な社会問題について、知識や情報を基に筋道を立てて考え、説明することができる。
		3. 関心・意欲・態度	(1) 健康や栄養に関心が深く、人のために力を尽くすことに意欲がある。 (2) 公的・私的な活動に対して積極的に取り組み、最後まであきらめずにやり通すことができる。
		4. 技能・表現	高校生活で何かをやり通したことがある。
		国文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識や意欲をそなえた人を求めます。	
国文科	1. 知識・理解	日本の言語と文学・文化に幅広く関心を持っている人。	
	2. 思考・判断	自分が生きている時代や、日本や世界の社会について積極的に知りたいと思っている人。	
	3. 関心・意欲・態度	社会に出る前の2年間で、真剣に自分の将来について考え、自分を一歩でも向上させたいと思っている人。	
	4. 技能・表現	自分の考えを会話や文章で的確に表現したいと思っている人。	
		英文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲をそなえた人を求めます。	
英文科	1. 知識・理解	英米を中心とした世界の文化・歴史に関して基本的な知識をそなえた人。	
	2. 思考・判断	常に問題意識を持って、自ら見つけたテーマを論理的に考え、「自分の言葉」でまとめることができる人。	
	3. 関心・意欲・態度	多様な人々の意見に耳を傾けると同時に、自分の意見も積極的に伝えることによって、自分を高めていきたいという意欲を持った人。	
	4. 技能・表現	英文科の授業が理解できる一定以上の英語の能力、特にリーディングの力を持った人。	

※ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）は本学ホームページ（<http://www.otsuma.ac.jp/>）をご参照ください。

出願要件

令和2年度一般入試（A方式、B方式）に出願できる者は、以下のいずれかに該当する女子です。

出願確認票または入学願書に、出願要件を証明する書類等を添付して出願してください。

出願書類については、23ページをよく読んでください。

出願要件	出願要件を証明する書類等 (出願日から遡って3か月以内に作成した最新のもの。要厳封)	
高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者	調査書	
通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和2年3月修了見込みの者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者および令和2年3月修了見込みの者を含む。）	調査書	
外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者および令和2年3月31日までに合格見込みの者は令和2年3月31日までに18歳に達している者）	1. 成績証明書 2. 当該課程の修了（見込み）を証明する書類（Diploma）など（コピー可） ※日本の学校にも在籍した場合、その学校の調査書または成績証明書も必要です。	
文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者	1. 修了（見込み）証明書 2. 調査書または成績証明書	
専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和2年3月修了見込みの者	1. 卒業（修了）証明書または卒業見込み（修了見込み）証明書 2. 調査書または成績証明書	
学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和2年3月31日までにこれに該当する見込み者	国際バカロレア資格を取得した者	1. 国際バカロレア資格証書（コピー） 2. 最終試験6科目の成績証明書（コピー）
	ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者	一般的大学入学資格証明書（コピー）
	フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者	1. バカロレア資格証書（コピー） 2. バカロレア資格試験成績証明書
	英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（General Certificate of Education Advanced Level（GCEA レベル）資格）を取得した者	1. GCEA レベル資格証明書（コピー） 2. 成績証明書
	外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者または修了見込みの者	1. 当該教育施設が文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けた教育施設であることを証明する書類 2. 当該課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（いずれも当該教育施設の長が発行するもの） 3. 成績証明書
	高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者で令和2年3月31日までに18歳に達している者	合格成績証明書 ※合格証明書は不要
	高等学校卒業程度認定試験に令和2年3月31日までに合格見込みの者で令和2年3月31日までに18歳に達している者	1. 合格見込成績証明書 2. 在籍する高校の単位修得見込証明書
本学の個別の入学資格審査において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で令和2年3月31日までに18歳に達している者	※出願要件の有無について、出願前に個別の入学資格審査を受けてください。詳細は、12ページをご覧ください。	

※出願要件確認のために、上記以外の書類を提出していただくことがあります。

学校教育法施行規則第150条第7号に該当する方の入学資格審査について

この手続が必要な方は、**出身学校の高等学校等コード番号が「54000F」の方のみ**です。このコード番号以外の方は、手続をする必要はありません。

本学では、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として入学資格認定を必要とする方について、個別の入学資格審査を行います。審査を希望する方は、以下の要領で申請を行ってください。

【入学資格審査の対象者】

学校教育法施行規則第150条第7号に該当する者で、**本学に入学する意思があり**、令和2年（2020年）3月31日までに18歳に達する者

【申請手順】

1. 事前相談

入学資格審査に係る申請を希望する方は、必ず**申請期間前**に、できるだけ早くご相談ください。

2. 申請期間・申請方法

事前相談終了後、以下の申請期間内に、申請書類一式を提出してください。

郵送の場合、表面に「**審査申請書類在中**」と朱書きし**簡易書留速達郵便またはレターパックプラス**で送付してください。

申請期間（郵送必着）	結果通知	入試方式
令和元年 9月12日（木）～ 9月26日（木）	10月下旬	一般入試A方式Ⅰ・Ⅱ期、一般入試B方式Ⅰ・Ⅱ期*出願予定者
令和元年10月9日（水）～10月23日（水）	11月下旬	

*一般入試B方式Ⅰ・Ⅱ期の出願予定者が本学の入学資格審査を申請する場合、大学入試センターへは他大学の入学（出願）資格認定をもって出願することになります。

3. 申請書類

申請書類は、原則として**A4サイズ**に統一してください。

提出書類等は、いかなる事情があっても返却しません。

(1) 入学資格審査申請書（本学所定様式・事前相談後に配付）

(2) 最終出身学校等の教育内容等

学校案内、学則、カリキュラム、卒業に必要な総授業時間数等が**客観的に**確認できる書類

(3) 学習歴の証明書

最終出身学校等の「卒業（見込み）証明書および成績証明書」または「調査書」（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの）

(4) 社会での実務経験等が客観的に確認できる書類（各種の学校等での学習歴または社会での実務経験等を有する方のみ）

① 実務経験等の期間および内容を証明する記載が含まれている書類

② 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると客観的に確認できる資格取得証明書等

(5) 令和2年3月31日までに18歳に達することを確認できる書類

健康保険証等のコピー（上記(3)、(4)の書類に生年月日の記載がある場合は提出不要）

※上記以外に、本学が審査に必要と判断した書類の提出を求めることがあります。

4. 審査方法・結果通知

提出された申請書類により審査を行い、申請者宛に郵送で結果を通知します。入学資格を認められた方には、認定書を交付します。

出願時に、**認定書の写し**を出願書類と併せて提出してください。

5. その他

学習歴等が「**修得見込み**」で入学資格の認定を受けた方が、認定を受けた年度内に当該学習歴等の修得に至らなかった場合、入学資格の認定は取り消しとなります。

6. 事前相談、申請書類送付先

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 広報・入試センター 入試グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地（本館E棟1階）

tel. 03-5275-0404 E-mail:nyushi@mlotsuma.ac.jp

事前相談・問合せ受付時間：[平日] 8:30～16:40 [土曜日] 8:30～13:10

入学者選抜の基本方針（一般入試 A 方式、B 方式共通）

修学する上で必要な高等学校での基礎学力や思考力等を計るため、各学科・専攻等のアドミッション・ポリシーに準拠した教科・科目の学力試験等を課し、提出された調査書等書類と総合して評価する。

選考方法

1. 学力試験の成績、面接（一般入試 A 方式 II 期の家政学部児童学科児童学専攻、社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻・情報デザイン専攻、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部家政科食物栄養専攻のみ実施）と調査書*等を総合して合否を判定します。
2. 面接は、複数の面接担当者で個人面接またはグループ面接を行います。面接では、志望理由、学科・専攻への適性、基礎学力などを見ます。
3. 志望する学科が指定した、合格判定に用いる科目数を満たしていない場合は、受験放棄とみなし、不合格とします。

※調査書の点数化はしていません。

面接、小論文についての詳細は、16 ページを確認してください。

選考日程

一般入試 A 方式 I 期

学部等		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
文学部		令和 2 年 1 月 6 日 (月) ∪ 1 月 20 日 (月) 当日消印有効	令和 2 年 2 月 1 日 (土)	令和 2 年 2 月 5 日 (水) 14:00 ~	令和 2 年 2 月 12 日 (水)
人間関係学部	人間関係学科		【集合時間】 * 1 時限 9:10 まで 2 時限 11:00 まで 3 時限 13:10 まで	令和 2 年 2 月 2 日 (日) 【試験時間】 1 時限 9:30 から 2 時限 11:20 から 3 時限 13:30 から	
家政学部	ライフデザイン学科				
	被服学科				
	食物学科				
児童学科					
比較文化学部					
社会情報学部					
人間関係学部	人間福祉学科				
短期大学部					

※集合時間は受験者の選ぶ選択科目によって異なります。

一般入試 A 方式 I 期で、社会情報学部、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部を受験される方へ

2 月 1 日、2 月 2 日の 2 日間から受験日を選択することができます。異なる学科・専攻はもちろん、同じ学科・専攻を 2 日間連続で受験することもできます。

一般入試 A 方式 II 期

学部等		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
家政学部	被服学科	令和 2 年 2 月 7 日 (金) ∪ 2 月 20 日 (木) 当日消印有効	令和 2 年 3 月 2 日 (月)	【集合時間】 9:10 まで 【試験時間】 9:30 から	令和 2 年 3 月 6 日 (金) 14:00 ~
	児童学科				
	ライフデザイン学科				
文学部					
社会情報学部					
人間関係学部	人間関係学科 社会学専攻 人間福祉学科				
比較文化学部					
短期大学部					

試験科目

【解答形式】

記述・マークセンス併用：国語(2月1日、2月2日、3月2日) ※記述では「知識・思考力・判断力」を評価します。
 化学(2月2日) ※記述では「知識・思考力・表現力等」を評価します。

小論文(3月2日) ※児童学科児童学専攻では「思考力・判断力・表現力等」と「主体的に学習に取り組む態度」を評価します。
 コミュニケーション文化学科では「知識・思考力・判断力」を評価します。

マークセンスのみ：上記以外の科目

A方式I期 令和2年2月1日(土) 試験時間:60分

【記号の見方】

- =必ず受験(必須科目) △=いずれか1科目を受験(選択科目)
- ・△は、2科目受験が可能です。その場合は高得点の科目で判定します。
- ・△は、出願時でなく、受験時に選択してください。どの科目を選択するかにより受験する時限が異なります。

学部・学科・専攻	時限・科目(配点)	合格判定に用いる科目数と組み合わせ	満点	1時限 9:30～10:30				2時限 11:20～12:20		
				国語 ※ (100点)				英語 (下表に特記のない場合は100点)		
				国語総合				コミュニケーション英語 I・II、英語表現 I		
家政学部	ライフデザイン学科	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●	
文学部	日本文学科	2(●と●)	150	●	現代文①		古文	漢文	● (50点)	
	英語英文学科	2(●と●)	250	●	現代文①	現代文②			● (150点)	
	コミュニケーション文化学科	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
		環境情報学専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
		情報デザイン専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
		社会・臨床心理学専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
		人間福祉学科	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
短期大学部	家政科	家政専攻	1(△)	100	△	現代文①	現代文②			△
		生活総合ビジネス専攻	1(△)	100	△	現代文①	現代文②			△
		食物栄養専攻	2(●と●)	200	●	現代文①	現代文②			●
	国文科	1(●)	100	●	現代文①	現代文②				
	英文科	1(●)	100						●	

※国語では、出題分野の合計得点を各学科・専攻の配点に換算します。
 出願する学科等が指定した国語総合の分野で解答していない分野があった場合は、解答した分野の得点で合格判定を行います。

解答パターン表(例)

〈例〉2/1
 ライフデザイン学科と
 人間福祉学科に
 出願した場合

国語	現代文①	現代文②	+ 英語	コミュニケーション英語 I・II、 英語表現 I	
	2種類を解答する			解答する	

〈例〉2/1
 日本文学科と社会学専攻
 に出願した場合

国語	現代文①	現代文②	古文	漢文	+ 英語	コミュニケーション英語 I・II、 英語表現 I	
	4種類を解答する					解答する	

〈例〉2/2
 社会生活情報学専攻と
 比較文化学科に
 出願した場合

英語	コミュニケーション英語 I・II、 英語表現 I		+ 国語	現代文①	現代文②	古文	or	地理	日本史 B	世界史 B
	解答する			3種類を解答する				歴史	どちらかを解答する	

英語と国語、または英語と地理歴史で合格判定に用いる科目数を満たします。
 国語と地理歴史の両方を解答した場合は、高得点の科目で判定します。

〈例〉2/2
 食物学専攻と
 管理栄養士専攻と
 短大食物栄養専攻に
 出願した場合

国語	現代文①	現代文②	or	英語	コミュニケーション英語 I・II、 英語表現 I		+ 理科	化学	生物
	2種類を解答する				解答する			どちらかを解答する	

国語と理科、または英語と理科で合格判定に用いる科目数を満たします。
 国語と英語の両方を解答した場合は、高得点の科目で判定します。

一般入試 A 方式 I 期・II 期

A方式 I 期 令和2年2月2日(日) 試験時間:60分

【記号の見方】

- ★=必ず受験(必須科目) ■=いずれか1科目を必ず受験(選択必須科目) □=いずれか1科目を受験(選択科目)
- ・□は、時限が異なれば2科目受験が可能です。その場合は高得点の科目で判定します。
- ・■および□は、出願時でなく、受験時に選択してください。□は、どの科目を選択するかにより受験する時限が異なります。

学部・学科・専攻		時限・科目(配点)	合格判定に用いる科目数と組み合わせ	満点	1時限 9:30～10:30		2時限 11:20～12:20	3時限 13:30～14:30				
					国語 ※ (100点)		英語 (100点)	理科、地理歴史、数学 (100点)				
					国語総合		コミュニケーション 英語I・II、 英語表現I	化学 *1	生物 *2	日本史 B	世界史 B	数学 *3
家政学部	被服学科		2(□と★)	200	□	現代文① 現代文②	★	□	□			
	食物学科	食物学専攻	2(□と■)	200	□	現代文① 現代文②	□	■	■			
		管理栄養士専攻	2(□と■)	200	□	現代文① 現代文②	□	■	■			
	児童学科	児童学専攻	2(★と★)	200	★	現代文① 現代文②	★					
児童教育専攻		2(□と★)	200	★	現代文① 現代文②	□	□	□				
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	2(□と★)	200	□	現代文① 現代文②	★			□	□	
		環境情報学専攻	2(□と★)	200	□	現代文① 現代文②	★	□	□	□	□	□
		情報デザイン専攻	2(□と★)	200	□	現代文① 現代文②	★	□	□	□	□	□
人間関係学部	人間福祉学科		2(□と★)	200	★	現代文① 現代文②	□			□	□	
比較文化学部	比較文化学科		2(□と★)	200	□	現代文①	古文	★		□	□	
短期大学部	家政科	家政専攻	1(□)	100	□	現代文① 現代文②	□					
		生活総合ビジネス専攻	1(□)	100	□	現代文① 現代文②	□					
		食物栄養専攻	2(□と■)	200	□	現代文① 現代文②	□	■	■			
	国文科		1(★)	100	★	現代文① 現代文②						
	英文科		1(★)	100				★				

※国語では、出題分野の合計得点を各学科・専攻の配点に換算します。

出願する学科等が指定した国語総合の分野で解答していない分野があった場合は、解答した分野の得点で合格判定を行います。

*1 化学の出題範囲:「化学基礎」及び「化学(無機物質の性質と利用・有機化合物の性質と利用)」

*2 生物の出題範囲:「生物基礎」及び「生物(生命現象と物質・生殖と発生)」

*3 数学の出題範囲:「数学I」「数学II」「数学A」

■ 一般入試 A 方式 I 期で複数の学科・専攻に出願する場合は、以下の①～⑤にご注意ください。

①同日の同時限に行われる試験問題は、全学科・専攻で共通です。

②1時限目「国語」について

- ・出願する学科・専攻が指定する出題分野をすべて解答してください。
- ・解答する出題分野の数に関わらず、試験時間は60分です。

③3時限目「化学」「生物」「日本史B」「世界史B」「数学」について

- ・出願する学科・専攻が指定する科目の中から、いずれか1科目のみ解答してください。
- ・出願時ではなく、試験日当日、試験問題を見てから解答する科目を決めることができます。

④2/1(土)、2/2(日)とも出願する場合は、両日とも試験を受けてください。

⑤2/1(土)と2/2(日)の試験問題は異なります。

2/1(土)に受験した科目の得点を2/2(日)の学科・専攻の得点として利用することはできません。

また、2/2(日)に受験した科目の得点を2/1(土)の学科・専攻の得点として利用することもできません。

一般入試 A 方式 I 期・II 期

A方式II期 令和2年3月2日(月) 試験時間:60分(面接以外)

【記号の見方】

- =必ず受験(必須科目) ▲=いずれか1科目を必ず受験(選択必須科目)
- ・▲は、出願時でなく、受験時に選択してください。

学部・学科・専攻		時限・科目(配点)	合格判定に用いる科目数と組み合わせ	満点	1時限 9:30～10:30			2時限 小論文 面接	11:20～12:20 11:20～	
					国語(100点)		英語(100点)	小論文(100点)	面接(下表に特記のない場合は50点)	
					国語総合		コミュニケーション英語I・II、英語表現I			
					現代文 古文 漢文	現代文 古文	現代文			
家政学部	被服学科		1(●)	100				●		
	児童学科	児童学専攻	1(▲)+面接(●)	200			▲	▲		●(100点)
		児童教育専攻	2(●と●)	200				●	●	
	ライフデザイン学科		1(▲)	100			▲	▲		
文学部	日本文学科		1(●)	100	●					
	英語英文学科		1(●)	100				●		
	コミュニケーション文化学科		2(●と●)	200				●	●	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	1(▲)	100			▲	▲		
		環境情報学専攻	1(▲)+面接(●)	150			▲	▲		●
		情報デザイン専攻	1(▲)+面接(●)	150			▲	▲		●
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	1(▲)	100			▲	▲		
	人間福祉学科		1(▲)+面接(●)	150			▲	▲		●
比較文化学部	比較文化学科		1(▲)	100		▲		▲		
短期大学部	家政科	家政専攻	1(▲)	100			▲	▲		
		生活総合ビジネス専攻	1(▲)	100			▲	▲		
		食物栄養専攻	1(▲)+面接(●)	200			▲	▲		●(100点)
	国文科		1(●)	100			●			
	英文科		1(●)	100				●		

※A方式II期は単願制です。複数の学科・専攻に出願することはできません。

面接

学部・学科・専攻	口頭試問	面接内容
家政学部児童学科児童学専攻	○	教育・保育への関心の高さを問う質問を含む
社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻	○	環境に関する質問を含む
社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻	○	情報とデザイン及び情報とシステムに関する質問を含む
人間関係学部人間福祉学科	○	本学科で学ぶ動機、日本の福祉の現状に関する知識及び考えについての質問を含む
短期大学部家政科食物栄養専攻	○	専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する質問を含む

小論文

小論文は学科・専攻により文章読解論述型、資料分析型、テーマ型、理科論述型、設問解答型などの形式もしくはこれらの形式を複数組み合わせ出題されます。

試験当日の注意事項

1. Web 受験票（詳細は 24 ページ参照）

- (1) 必ず持参してください。万一 Web 受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。
- (2) [A 方式 I 期のみ] 試験室の座席案内、解答用紙への記入は「当日番号」を使用します。（25 ページ「A 方式 Web 受験票見本」参照）

2. 集合時間

午前 8 時 10 分に試験場を開場します。受験する時限の試験開始 20 分前まで（下表参照）に所定の試験室に入室し、試験監督者の指示に従ってください。

試験開始 20 分前から試験の説明・問題冊子等の配付を行います。

交通状況を考えて早めに行動してください。

	試験場の開場時間	集合時間（試験開始 20 分前）		
		1 時限目	2 時限目	3 時限目
A 方式 I 期	8:10	9:10 まで	11:00 まで	13:10 まで
A 方式 II 期			-	-

※試験室への入室開始は、各時限とも放送でお知らせします。

※[A 方式 I 期のみ] 2 時限目から受験する方は、10:50 までは試験場内の控室などで待機していただきます。

3. 遅刻

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。試験開始から 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合は、集合時間までに広報・入試センター（千代田・tel. 03-5275-0404）に連絡してください。なお、災害や事故などにより試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験時間を繰り下げることがあります。29 ページ Q10 もあわせて確認してください。

4. 入退出

- (1) 各時限の集合時間（試験開始 20 分前）から試験終了時刻までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の試験室からの退室は認めません。
- (2) 各時限とも、試験開始から終了時刻までは、退場（受験放棄）できません。
- (3) [A 方式 I 期（2/2）] 昼食時（12:20～13:10）は、試験場内で昼食をとることができます。
[A 方式 II 期（3/2）] 面接を受験する場合、控室で昼食をとることができます。

※面接開始時間は受験者によっては 14:00 頃になる場合もあります。

試験場外に出ることもできますが、外出する時は必ず受験票を携帯し、再入場時に入口で提示してください。

次の試験時間に間に合うよう、時間に余裕をもって行動してください。

5. 持ち物

- (1) 解答には必ず HB の黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴムを使用してください。
その他、試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は下記のとおりです。

使用できる用具	鉛筆削り（電動式不可）、鉛筆キャップ、時計（時刻だけを表示するものに限る。アラーム機能は、入室前に設定を解除すること。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）、目薬
使用できない用具	定規、下敷き、電卓、耳せん、辞書
試験監督者の許可が必要な用具	使い捨てカイロ、ひざかけ（上着等の代用含む）

- (2) 携帯電話等の通信機器は、試験場に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。試験時間中に時計として使用することはできません。試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計（時刻だけを表示するものに限る）を持参してください。

6. 不正行為

以下の行為は不正行為となる場合があります。

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② カンニングをすること。
- ③ 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ④ 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為が認められた場合、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験もすべて無効となり、入学資格を失います。

一般入試 A 方式 I 期・II 期

7. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

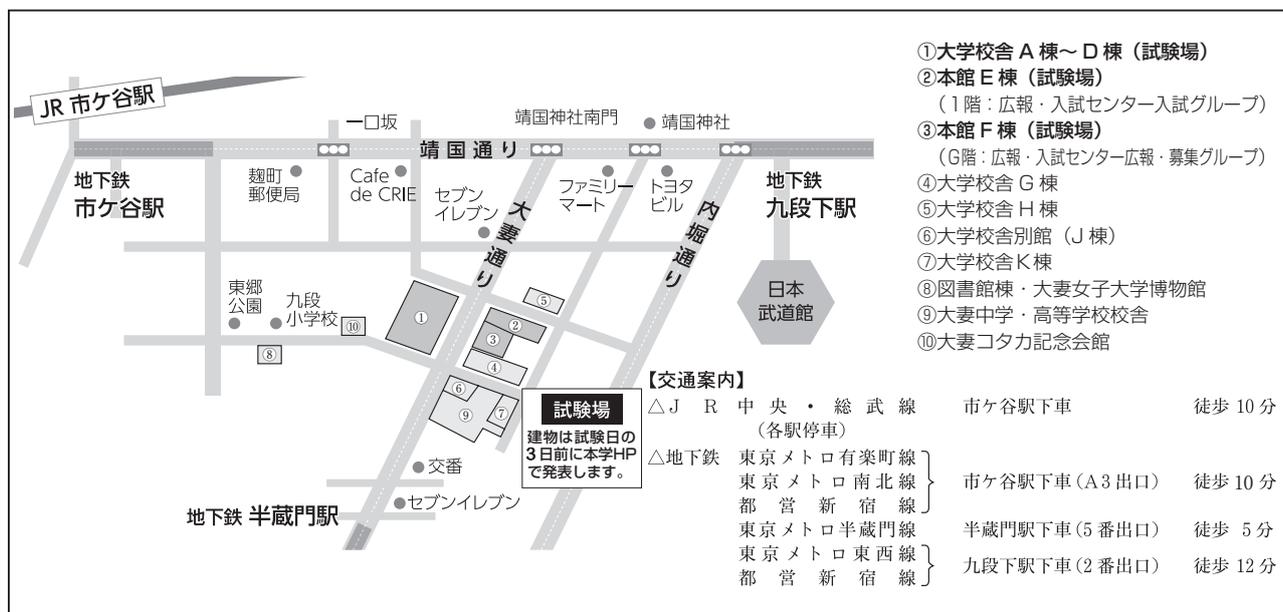
8. その他

- (1) 試験室を間違えて受験した場合は、解答を採点できない場合があります。
- (2) 本学近辺で合否連絡の受付・勧誘・印刷物の配布を行う者があっても、本学とは一切関係がありません。発生した事故については、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
- (3) 生活騒音（自動車、風雨、空調音、咳、くしゃみ等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

試験場（千代田キャンパス）

1. 全学科・専攻とも千代田キャンパスで実施します。試験場を間違えた場合は、受験することができません。事前に募集要項・本学ホームページで試験場をよく確認してください。試験場の建物名は、試験日の3日前に本学ホームページ（トップページ>お知らせ）で発表します。
2. 駐車場・駐輪場はありません。公共の交通機関をご利用ください。あらかじめ試験場への経路、所要時間等を確認し、当日は早めに到着するよう心がけてください。
3. 上履きは不要です。
4. 当日は、付添人控室を用意します。ただし席数に限りがあります。
5. 試験場（構内）の下見について
キャンパス見学可能日は、本学ホームページの「入試・入学」のページに随時掲載予定です。なお、日曜日・祝日、年末年始、学校記念日（11月20日）、入学試験の前日・当日、在学生の補講・試験期間、オープンキャンパス前日は見学できません。

千代田キャンパス 一般入試 A 方式（I・II期）…全学科・専攻



入学者選抜の基本方針（一般入試 A 方式、B 方式共通）

13 ページをご確認ください。

選考方法

- 令和 2 年度大学入試センター試験の成績と、調査書[※]等を総合して合否を判定します（本学での学力試験は行いません）。
- 事前に大学入試センターに出願し、令和 2 年度大学入試センター試験を受験してください。
 なお、志望学科・専攻が指定した試験科目（20・21 ページ参照）を必ず受験してください。試験科目のうち、1 科目でも未受験の科目がある場合は、不合格とします。
[※]調査書の点数化はしていません。

選考日程

一般入試 B 方式 I 期

学部等	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
家政学部	令和 2 年 1月 6日（月） ） 1月 22日（水） 当日消印有効	（ 令和 2 年度 大学入試センター試験） 令和 2 年 1月 18日（土） 1月 19日（日） ※本学での学力試験は 行いません	令和 2 年 2月 7日（金） 14:00 ～	令和 2 年 2月 13日（木）
文学部				
社会情報学部				
人間関係学部				
比較文化学部				
短期大学部				

一般入試 B 方式 II 期

学部等	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
家政学部 ライフデザイン学科	令和 2 年 2月 7日（金） ） 2月 22日（土） 当日消印有効	（ 令和 2 年度 大学入試センター試験） 令和 2 年 1月 18日（土） 1月 19日（日） ※本学での学力試験は 行いません	令和 2 年 3月 6日（金） 14:00 ～	令和 2 年 3月 12日（木）
文学部				
社会情報学部				
人間関係学部				
比較文化学部				
短期大学部				

一般入試 B 方式 I 期・II 期

試験科目

※各学科・専攻が指定した選択科目を必要科目数以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。

B 方式 I 期・II 期〈大学学部（4 年制）〉

学部・学科・専攻		利用する大学入試センター試験の科目 (本学での学力試験は行いません)	配点	I 期	II 期	
家政学部	被服学科	「国語（「近代以降の文章」）」「英語」から 1 科目	200	○	-	
		「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「理科※ 1」「情報関係基礎」から 1 科目	200			
	食物学科	食物学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」	200	○	-
			「英語」	200		
			【理科※ 1】	200		
		管理栄養士専攻	「国語（「近代以降の文章」）」	200	○	-
			「英語」	200		
			【理科※ 1】	200		
	児童学科	児童学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」 「英語」	200 200	○	-
		児童教育専攻	「国語（「近代以降の文章」）」 「英語」【理科※ 2】から 1 科目	200 200		
	ライフデザイン学科		「国語（「近代以降の文章」）」「英語」から 1 科目 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」【理科※ 1】「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」 「数学 II・数学 B」「情報関係基礎」から 1 科目	200 200	○	○
	文学部	日本文学科		「国語」 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」「英語」から 1 科目	200 100	○
英語英文学科		「英語」 「国語（「近代以降の文章」）」「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」から 1 科目	300 150	○	○	
コミュニケーション文化学科		「英語」 「国語（「近代以降の文章」）」「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」から 1 科目	200 200	○	○	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」 「英語」 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」【理科※ 2】から 1 科目	200 200 200	○	○
		環境情報学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語」から 1 科目 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」【理科※ 2】 「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」から 1 科目	200 200	○	○
		情報デザイン専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語」から 1 科目 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」【理科※ 2】 「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」から 1 科目	200 200	○	○
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」 「英語」	100 100	○	○
		社会・臨床心理学専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語」「数学」から 2 科目 ただし、数学を選択する場合は、「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」 「数学 II・数学 B」からいずれか 1 科目	200 (1科目 100点)	○	○
人間福祉学科		「国語（「近代以降の文章」）」 「英語」「世界史 B」「日本史 B」「現代社会」から 1 科目	100 100	○	○	
比較文化学部	比較文化学科	「国語（「近代以降の文章」）」と「古文」	200	○	○	
		「英語」 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」から 1 科目	200 200			

B 方式 I 期・II 期〈短期大学部（2 年制）〉

学部・学科・専攻		利用する大学入試センター試験の科目 (本学での学力試験は行いません)	配点	I 期	II 期	
短期大学部	家政科	家政専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語（リスニングを除く）」から1科目	200	○	○
		生活総合ビジネス専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語（リスニングを除く）」から1科目	200	○	○
		食物栄養専攻	「国語（「近代以降の文章」）」「英語（リスニングを除く）」から1科目 【理科※3】	200 200	○	○
	国文科	「国語（「近代以降の文章」）」	100	○	○	
	英文科	「英語」	250	○	○	

I 期、II 期共通事項

理科の出題範囲と科目の採用方法	<p>【理科※1】(A～Dのいずれか)</p> <p>A 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の3科目から選択解答した2科目の合計点を採用</p> <p>B 「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した1科目の得点を採用</p> <p>C 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の3科目から選択解答した2科目の合計点並びに「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用</p> <p>D 「物理」「化学」「生物」の3科目から選択解答した2科目の得点のうち、高得点を採用</p>
	<p>【理科※2】(A～Dのいずれか)</p> <p>A 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から選択解答した2科目の合計点を採用</p> <p>B 「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した1科目の得点を採用</p> <p>C 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から選択解答した2科目の合計点並びに「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用</p> <p>D 「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から選択解答した2科目の得点のうち、高得点を採用</p>
	<p>【理科※3】(A～Dのいずれか)</p> <p>A 「化学基礎」「生物基礎」の2科目を解答した合計点を採用</p> <p>B 「化学」「生物」の2科目から選択解答した1科目の得点を採用</p> <p>C 「化学基礎」「生物基礎」の2科目を解答した合計点並びに「化学」「生物」の2科目から選択解答した1科目の得点のうち、高得点を採用</p> <p>D 「化学」「生物」の2科目を選択解答した得点のうち、高得点を採用</p>

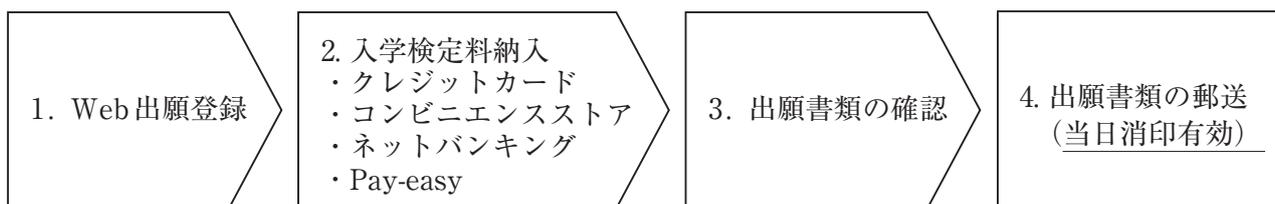
- 「英語」を選択する方は、筆記試験とリスニングを両方解答してください（短期大学部家政科を除く）。
- 令和2年度大学入試センター試験の成績を以下のとおり換算します。
 - 国語【家政学部、文学部英語英文学科・コミュニケーション文化学科、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部家政科】各学科・専攻が指定した出題範囲の合計得点を、各学科・専攻の配点に換算
 - 英語【家政学部、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部】筆記試験とリスニングの合計得点を、各学科・専攻の配点に換算
 - 上記以外の各学科・専攻指定科目【家政学部、文学部英語英文学科・コミュニケーション文化学科、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部家政科食物栄養専攻】科目の得点を、各学科・専攻の配点に換算
- 平成31年度以前の大学入試センター試験の成績を利用することはできません。
- 英語のリスニング免除者は、大学入試センター試験の英語（筆記試験）の得点（200点満点）を、本学各学科・専攻の英語の満点に換算します。
- 英語のリスニングのみ未受験（または筆記試験のみ未受験）者は時限欠席（科目未受験）者とはせず、リスニング部分（または筆記部分）を0点として扱い、合否の判定対象とします。リスニング免除者が英語筆記試験を受験しなかった場合は、時限欠席者とはせず、英語全体の得点を0点として合否の判定対象とします。

出願手続

出願の流れ（詳細は23ページ参照）

入学検定料納入期間・出願期間内に次の出願手続がすべて完了するようにしてください。

入試種別・方式	入学検定料納入期間・出願期間
A方式Ⅰ期	令和2年1月6日（月）～1月20日（月）
B方式Ⅰ期	令和2年1月6日（月）～1月22日（水）
A方式Ⅱ期	令和2年2月7日（金）～2月20日（木）
B方式Ⅱ期	令和2年2月7日（金）～2月22日（土）



・外国の高等学校修了者（在外教育施設を除く）、インターナショナルスクール修了者は、出願手続をする前に広報・入試センター（千代田）に申し出てください。

入学検定料と割引制度

入試種別・方式	入学検定料および割引内容
A方式Ⅰ期	1学科・専攻35,000円です。2学科・専攻目から1学科・専攻につき20,000円になります。なお、社会情報学部、人間関係学部人間福祉学科、短期大学部において同じ学科・専攻を2日間とも受験する場合は「2学科・専攻分」の検定料金になります。
A方式Ⅱ期	35,000円です。1学科・専攻のみ出願できる入試方式のため、割引制度はありません。
B方式Ⅰ期	1学科・専攻17,000円です。2学科・専攻目から1学科・専攻につき10,000円になります。
B方式Ⅱ期	

- 【A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期】1回のWeb出願登録ごとの割引制度適用となります。
- 割引制度は、Ⅰ期・Ⅱ期、A方式・B方式それぞれ別々の適用となります。
- 入学検定料納入後や出願書類郵送後に、さらに同じ入試方式内で追加出願する場合でも、前回と合わせての割引になりません。再度出願手続が必要となります。
- 大規模自然災害で被災された方には、入学検定料等の免除・減免制度があります（35ページ参照）。

出願手続

1. Web出願登録

本学ホームページからWeb出願サイト (<https://sak-sak.net/app/owu/>) にアクセスしてください。

本学ホームページ→入試・入学→Web出願

《手順》

- ① 画面の案内に従って、試験情報、志願者情報、アンケートを入力する。
- ② 任意のユーザID、パスワードを入力し、ユーザ登録をおこなう。
- ③ 入学検定料の支払方法を選択する。
- ④ [クレジットカード]でお支払いの場合、支払手続をおこない「出願登録受付および入金完了メール」を受け取る。

[クレジットカード以外]でお支払いの場合、「出願登録受付メール」を受け取る。その後、支払手続をおこない「入金完了メール」を受け取る。

【自然災害に係る特別措置申請者の方】「コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easyでお支払い」を選択し、入学検定料は納入しないでください。

⑤ [出願確認票]と[宛名ラベル]を印刷する。

※ユーザID、パスワードは、A方式I・II期のWeb受験票の確認(24ページ参照)で使用しますので、大切に保管しておいてください。大学に問い合わせ確認することはできません。

※入学検定料納入後は登録のやりなおしはできません。出願登録内容をよく確認のうえ、納入してください。

※各種メールが届くまでに、最長2時間程度かかります。

※Web出願登録は、入試・期別ごとに届出締切日の23時で締め切ります。

2. 入学検定料の納入

入学検定料は次の方法で納入できます。

支払方法	支払機関	
クレジットカード	Master card、VISA	
コンビニエンスストア	セイコーマート、セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン	
銀行	ネットバンキング	じぶん銀行、ジャパンネット銀行、楽天銀行、Pay-easy
	ATM	Pay-easy

※入学検定料の他に手数料が必要です。

※コンビニエンスストアおよびPay-easy(ATM)で納入後は、領収書・明細書等を受け取り、各自で保管してください。

3. 出願書類の確認

[1. 出願確認票]

上記 1. Web出願登録 ⑤で印刷した用紙。

[2. 調査書等](出願日から遡って3か月以内に作成した最新のもの。要厳封)

11ページの「出願要件を証明する書類等」欄を参照し、郵送1回につき必要書類を1通提出してください(複数学科・専攻へ出願する場合や、A・B方式両方に出願する場合でも1通で可)。ただし、すでに出願書類を提出し、その後追加で出願する場合は改めて出願確認票と調査書の提出が必要です。

調査書が発行されない場合(卒業後年数がたっていて指導要録の保存期間が経過している場合、廃校・被災等)は、代わりに成績証明書と卒業証明書を提出してください。

成績証明書と卒業証明書を提出できない場合は、広報・入試センター(千代田)にお問い合わせください。

[3. 顔写真][A方式I期・II期]

たて4cmよこ3cm、上半身正面、3か月以内撮影、全面のり付、白黒・カラーともに可。写真の裏に氏名・生年月日を記入し、「出願確認票」の所定欄に貼り付けてください。

[4. センター試験成績請求票][B方式I期・II期]

大学入試センターから交付された、令和2大学入試センター試験成績請求票のうち「私立大学・公私立短期大学用」を「出願確認票」の所定欄に貼り付けてください。上記の請求票以外は不備になります。

[5. その他]

改姓などにより、「出願確認票」と調査書の氏名が異なる場合は、同一人物のものであることを証明する書類[旧姓と新姓の両方が記載されている住民票や戸籍抄本等。個人番号(マイナンバー)の記載がないもの]を提出してください。

4. 出願書類の郵送

上記 1. Web出願登録 ⑤で印刷した「宛名ラベル」を市販の封筒(角2型)に貼付し、3. 出願書類の確認で示した書類を入れ、簡易書留速達で郵送してください。

※出願書類の送付をもって出願完了となります。

送付先 〒102-8799 日本郵便(株) 麹町郵便局留 大妻女子大学入学願書受付係

出願上の注意事項

1. 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
2. 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、速やかにその指示に従ってください。
3. 出願後に、学科・専攻・試験日の変更はできません。
4. 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
5. 入学検定料および出願書類は、原則として返還しません。
6. A 方式の選択必須科目および選択科目は、受験時に選択してください。
7. Web上からのみ出願できます。自宅にインターネット環境がない場合は、学校等のパソコンを利用してください。

障がい等のある方への受験・修学上の配慮について

入試種別	申出締切
一般入試 A 方式、B 方式	令和元年12月4日(水)

疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、申出締切日までに、必ず広報・入試センター入試グループ(千代田)までご相談ください。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。

なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただきます。

受験・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

【連絡先】 広報・入試センター入試グループ(千代田) tel. 03-5275-0404

Web受験票の確認

A 方式

Web出願サイトの出願状況確認ページより確認、印刷してください。

B 方式

Webを利用した受験番号照会システムにより受験番号を確認してください。

※本学から紙の受験票は発送しません。

A 方 式	<p>①Web受験票ダウンロード期間</p> <p>A方式 I 期: 令和2年1月24日(金)9時~2月12日(水)17時 A方式 II 期: 令和2年2月23日(日)9時~3月12日(木)17時</p> <p>25ページの確認方法に従い受験票をダウンロードし、記載事項を確認してください。また<u>受験票はA4サイズで印刷し、試験当日必ず持参してください。</u></p> <p>[A方式 I 期] 複数出願者: <u>試験日ごとに1枚の受験票を発行します。</u></p>	<p>②出願登録内容と受験票の記載内容に誤りがあった場合</p> <p>次の日時までに、至急広報・入試センター(千代田)にご連絡ください。</p> <p>A方式 I 期: 令和2年1月28日(火)10時まで B方式 I 期: 令和2年1月29日(水)10時まで A方式 II 期: 令和2年2月27日(木)10時まで B方式 II 期: 令和2年2月28日(金)15時まで</p>
B 方 式	<p>①Web受験票の確認期間</p> <p>B方式 I 期: 令和2年1月27日(月)9時~2月13日(木)17時 B方式 II 期: 令和2年2月27日(木)9時~3月12日(木)17時</p> <p>26ページの確認方法に従い、受験番号を確認してください。</p>	

【A 方式 Web 受験票確認方法】

Web 出願登録時に登録したユーザIDとパスワードが必要です。

1

Web 出願サイトにアクセスし、ログイン

受験票ダウンロード期間に、Web 出願サイト(https://sak-sak.net/app/owu/)のトップ画面右下にある「ユーザ登録済の受験生用」欄に、出願登録時に登録した「ユーザID」と「パスワード」を入力し、「出願状況確認」ボタンをクリックする。

※複数の「ユーザID」で出願登録された方は、最後に登録したものでログインしてください。登録したすべての出願状況を確認できます。

クリック

2

受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、「出願受付番号」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認する。

クリック

3

受験票を印刷

「印刷」ボタンをクリックし、Web 受験票PDFをダウンロードする。ダウンロードした受験票PDFはA4サイズで印刷し、試験当日必ず持参する。

受験番号を確認

【A 方式 Web 受験票見本】

重要

本学ホームページ
トップページ>お知らせ
で発表します。

[A方式I期]
「当日番号(I期用)」
は試験当日に使います。
「受験番号」は出願した学
科・専攻分が記載されて
います。合格発表、入学
手続で使います。

令和2年度 一般入試 受験票		大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部
入試種別	一般入試A方式I期	
試験日	令和2年2月1日	
氏名	大妻 じゅん子	
試験場	大妻女子大学 千代田キャンパス 最寄駅 市ヶ谷・半蔵門・九段下	
<small>使用する試験場の建物名は試験日の3日前に本学ホームページのトップページ「お知らせ」で発表します。(http://www.otsuma.ac.jp/)</small>		
当日番号(I期用)	A200001A	
受験番号	志望学部・学科等	
1420-00024	人間関係学部人間福祉学科	
2110-00008	短期大学部家政科家政専攻	
2115-00005	短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻	
2400-00010	短期大学部英文科	
	以下空白	

【集合時間】

期別	制限	1時限目	2時限目	3時限目
I 期	9:10まで		11:00まで	13:10まで
II 期				

○交通状況を考えて早めに行動してください。
○集合時間から試験の説明、問題冊字等の配付を行います。
○2時限目から受験する方は、試験場内の控室などで10:50まで待機していただきます。

【試験場】 大妻女子大学 千代田キャンパス
○全学部・学科とも千代田キャンパスで実施します。
○試験場を間違えた場合は、受験することができません。

本学ホームページで交通アクセスをご確認ください。
(http://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda)

【A方式II期】
「受験番号」が1つ記載されています。試験当日、合格発表、入学手続で使います。

【試験時間の変更や不測の事態が起きた場合の対応について】
○本学ホームページでお知らせします。

本学ホームページのトップページ「お知らせ」をご確認ください。
(http://www.otsuma.ac.jp/)

※表示内容に訂正がある場合は、至急本学にご連絡ください。(tel. 03-5275-0404)

※画像はイメージのため、実際とは異なる場合があります。

〈注意事項〉

1. 利用時間は入試種別・入試方式ごとに定めてあり、期間外に見ることはできません。
2. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末から確認ができます。
3. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合は、ブラウザを調整してください。
4. 使用機種のパフォーマンスやインターネットの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

【B方式 Web受験票確認方法】

1

Web受験番号照会システムにアクセス

Web受験票確認期間に、以下のURLにアクセスする。

Web 受験番号照会システム URL



2

Web受験番号照会システムにログイン

Web受験番号照会システムのトップ画面にある入力欄に「R2センター試験成績票」に記載されている番号（英数字12桁）および生年月日（8桁）を入力する。

※「R2センター試験成績票」に記載されている番号が「200111-1001X-1」の場合は「2001111001X1」
 ※生年月日が2001年2月8日の場合は「20010208」

センター試験成績請求番号	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ ○ ○ - ○
生年月日（西暦）	○ ○ ○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日

受験番号確認

3

受験番号を確認

サイト上に表示された受験番号を確認する。

※確認した受験番号は大切に保管しておいてください。合否照会や各種お問い合わせに受験番号が必要になります。

センター試験成績請求番号 200111-1001X-1 ○ ○ ○ ○ さん

〈一般入試B方式〉

志望先	受験番号
文学部日本文学科	1210-10030
比較文化学部比較文化学科	1511-10025

戻る

※画像はイメージのため、実際とは異なる場合があります。

〈注意事項〉

1. 利用時間は入試種別・入試方式ごとに定めてあり、期間外に見ることはできません。
2. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末から確認ができます。
3. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合は、ブラウザを調整してください。
4. 使用機種のパフォーマンスやインターネットの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

合格発表

1. 発表期間

入試種別・方式	学部	発表期間
A方式Ⅰ期	文学部	令和2年2月5日(水)14:00～2月12日(水)15:00
	家政学部・社会情報学部・人間関係学部・比較文化学部・短期大学部	令和2年2月6日(木)14:00～2月12日(水)15:00
B方式Ⅰ期	全学部	令和2年2月7日(金)14:00～2月13日(木)15:00
A方式Ⅱ期	全学部	令和2年3月6日(金)14:00～3月12日(木)15:00
B方式Ⅱ期	全学部	令和2年3月6日(金)14:00～3月12日(木)15:00

2. 発表の方法

- (1) Webを利用した合否照会システムにより行います。大学構内での掲示は行いません。
[B方式を受験した方]必ず事前にWebによる受験番号照会をしてから、合否照会システムを利用してください。
- (2) 合格者には、合格発表日に合格通知書および入学手続き書類を郵送します。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。なお、A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期においてそれぞれ複数学科・専攻に出願し、各学科・専攻での合否判定の結果、合格となった方には、それぞれの学科・専攻の合格通知書を送ります。

一般入試A方式Ⅰ期で、同じ学科・専攻を2日間とも受験された方へ

学科・専攻ごとに2日間の受験者全員を一緒にして合否を判定しますので、同じ学科・専攻を2日間とも受験し、両日とも得点が合格ラインを上回った場合は、2通の合格通知書および入学手続き書類を送付します。

3. 注意事項

- (1) 補欠合格者は発表していません。追加合格については、28ページを参照してください。
- (2) 合格通知書の未着、合否照会システムの誤操作等を理由とした入学手続き期間の延長は認めません。
- (3) 電話等による合否結果の問い合わせには応じません。

〈操作ガイド〉

合否照会システム URL

パソコン・スマートフォン	携帯電話
<p>https://sak-sak.net/app/pass/owu/</p> 	<p>https://sak-sak.net/m/pass/owu/</p> 

〈確認方法〉 ※下図はイメージ

- ① 合否照会システム URL にアクセスする。
- ② 受験番号9けた（半角）と、生年月日8けた（半角）を入力する。

受験番号はハイフン`-`を除く。

※生年月日が2001年2月8日の場合は「20010208」

受験番号	○○○○○○○○○
生年月日（西暦）	○○○○年○○月○○日

- ③ [合格] [不合格] [欠席・棄権]

おめでとうございます。
合格です。合格通知書を
郵送しました。

残念ながら不合格です。
追加合格については、
募集要項をご覧ください。

欠席または試験の一部
を受験していないため、
残念ながら不合格です。

〈注意事項〉

1. 利用時間は入試種別・入試方式ごとに定めてあり、期間外に見ることはできません。
2. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末から確認ができます。
3. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合は、ブラウザを調整してください。
4. 使用機種のパフォーマンスやインターネットの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

追加合格

1. 合格者の入学手続状況により、入学手続者に欠員が生じた場合は、令和2年3月22日（日）まで順次繰り上げによる追加合格があります。本学は合格発表時に補欠合格者を発表しておりません。合格発表時に「不合格」となった方が追加合格の対象者となります。
2. 追加合格は、電話で出願時に登録した「電話番号」または「緊急連絡先」に連絡します。その際、入学意志の確認をします。例年、各入試種別の入学手続締切日夕方以降に連絡をすることが多いため、本学への入学を希望される方は、可能なかぎり待機しててください。

入学手続

納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。
詳細は、合格者に交付する「入学手続の手引」でご確認ください。

1. 入学手続時納入金

(1) 納入期間

A方式は13ページ、B方式は19ページの「選考日程」表でご確認ください。

納入期限までに本学の指定口座に送金されていない場合は、棄権とみなします。

- ※ 納入期限日に振り込む場合は、金融機関から本学への送金が当日扱いになるか金融機関の窓口で確認してから手続きをしてください。

(2) 納入方法

入学手続締切日までに金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。

ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATMからの振り込みはできません。

(3) 納入金額

入学する学部・学科により入学手続時納入金合計が異なります。31ページの表で確認してください。

(4) 入学手続時納入金の振替

一般入試において入学手続を完了した方が、後に合格となった学科・専攻へ入学を希望する場合、本学内で入学手続時納入金の振替ができます。

ただし、入学手続時納入金の納入期間が重なっている場合、振替はできません。

(例:一般入試A方式I期(正規合格)から一般入試B方式I期(正規合格)は、重なっているため振替不可)

2. 入学手続書類

「入学手続の手引」に従って、入学手続締切日〔当日消印有効〕までに簡易書留速達で郵送してください。

3. 入学辞退・納入金返還

一般入試において入学手続時納入金を納入した方が入学を辞退する場合、本学所定の手続きを令和2年3月31日（火）までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金を返還します。

〈修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免について）〉

- ・本学は、修学の支援に関する法律の公布・施行により令和2年度から始まる修学支援新制度による支援対象校に認定されるよう申請しております。
認定を受けましたら、速やかに本学ホームページでお知らせいたします。
- ・詳細は、文部科学省のホームページをご覧ください。
文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

よくあるご質問

出 願

Q1 同じ入試方式の中で複数学科・専攻に出願できますか？

A1 A方式Ⅰ期は、①同一試験日内の学科・専攻、②試験日が異なる学科・専攻どちらも可能です。受験時の注意点は、15ページで確認してください。
A方式Ⅱ期では、複数学科・専攻に出願できません。
B方式Ⅰ期・Ⅱ期では、すべての学科・専攻で出願できます。

Q2 A・B方式まとめて1つの封筒で郵送したいのですが、A方式とB方式の2枚の宛名ラベルが印刷されました。どちららを使用すればよいですか。

A2 通常はA・B方式1枚の宛名ラベルが印刷されますので、そのままご使用いただけますが、A方式・B方式それぞれで宛名ラベルが印刷された場合は、2枚のうち1枚を使用してください。宛名ラベルに「A方式・B方式」と明記のうえ、市販の封筒（角2型）に貼付し、簡易書留速達で郵送してください。

Q3 複数学科・専攻に出願する場合、また、A・B方式両方に出願する場合、調査書は何通必要ですか？

A3 出願書類の郵送1回につき調査書1通が必要です。
A・B方式の各出願確認票を1つの封筒で郵送すれば調査書1通で出願可能です。

Q4 A方式Ⅰ・Ⅱ期の出願時に必要な写真はスピード写真でもよいですか？

A4 出願確認票の「写真貼付欄」の注意事項を満たし、顔が鮮明に写っているものであれば大丈夫です。受験の際にメガネを使用する方は、メガネを着用した写真を貼付してください。
なお、入学後の学生証の写真としては使用しません。

Q5 入学検定料の納入や出願は大学窓口でできますか？

A5 大学窓口での受付はしていません。

Q6 出願後に入試方式、志望学科・専攻等を変更できますか？

A6 出願後の変更はできません。学部・学科・専攻名、入試日、時間等を確認し間違いのないように出願してください。

Q7 紙の受験票が届きません。

A7 A方式・B方式ともWeb受験票を発行しています。詳細は24ページを確認してください。

試験当日（A方式）

Q8 試験はどのキャンパスで行いますか？

A8 すべての学部とも千代田キャンパスで行います。

Q9 試験開始に遅刻した場合でも受験できますか？

A9 試験開始から30分以内の遅刻に限り受験は認めますが、試験時間の延長はしません。

Q10 試験当日、電車が事故で止まってしまった場合、どうすれば良いですか？

A10 公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合は、集合時間までに必ず広報・入試センター（千代田・tel. 03-5275-0404）に連絡のうえ、なるべく早いルートで試験場に向かってください。遅延証明書は必要ありません。
なお、災害や事故などにより公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験開始時間を繰り下げることがあります。試験時間に変更が生じた場合は、本学ホームページにてお知らせします。

Q11 受験時の服装に注意点はありますか？上履きは必要ですか？

A11 服装は私服でも制服でも構いません。ただし、漢字、英文字、地図等が書かれた服は着用しないでください。上履きは必要ありません。

Q12 大学内に昼食場所はありますか？

A12 [A方式Ⅰ期(2/2)] 昼食時(12:20~13:10)は、試験場内で昼食をとることができます。
[A方式Ⅱ期(3/2)] 面接を受験する場合、控室で昼食をとることができます。
※面接開始時間は受験者によって14:00頃になる場合もあります。
試験場外に出ることもできますが、その際は必ず受験票を携帯してください。

Q13 A方式の選択必須科目および選択科目は、いつ選ぶのですか？

A13 出願時でなく、受験時に選択してください。その時限に選択できる全ての科目の冊子を配付しますので、問題を見てからでも科目を選ぶことができます。

合格発表以降

Q14 入学手続期間を延ばしてもらえますか？

A14 入学手続期間の延長は行いません。手続期限までに手続がされていない場合は、いかなる事情があっても本学への入学の意志がないものとし、棄権とみなします。教育ローン等の融資や奨学金を受ける場合は、融資日等を事前によく確認しておいてください。

Q15 追加合格はありますか？

A15 入学手続者に欠員が生じた場合は、繰り上げによる追加合格を行うことがあります。詳細は28ページを参照してください。

Q16 入学を辞退する場合はどうすればよいですか？

A16 入学手続後に入学を辞退する場合は、合格発表日に郵送される「入学手続の手引」に従い所定の手続を行ってください。指定の期日までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金をお返しします。

Q17 I期で入学手続後、II期で第一志望の学科に合格しました。納入金の振替はできますか？

A17 納入金を振り替えることができます。28ページを参照してください。

その他

Q18 出願者数は教えてもらえますか？

A18 出願期間中は、本学ホームページに出願状況を掲載します。

Q19 A方式の過去問題を見ることはできますか？

A19 請求者の住所、氏名、電話番号を記入したあて名カード(右記見本)と送料分の切手300円分(速達希望の場合は切手620円分)を同封し、広報・入試センター(千代田)宛にお申し込みいただければ、昨年度の一般入試A方式過去問題集を送付いたします。

約9cm

□□□ - □□□□

住所 _____

氏名 _____ 様

TEL _____

約4cm

※ 在庫がなくなり次第、配布を終了させていただきます。

Q20 B方式の志望学科の『国語』の出題範囲に古典(古文、漢文)がありません。大学入試センター試験では「近代以降の文章」の分野のみ解答すればいいですか？

A20 解答方法については、受験者の判断で構いません。本学においては、各学科・専攻において指定した分野のみの得点を利用します。なお、特定の分野のみ解答する場合でも、大学入試センター試験での試験時間は80分です。

入学手続時納入金・学費等

入学する学部・学科・専攻で入学手続時納入金額が異なります。なお、入学手続時納入金は、入学手続締切日まで一括納入する必要があります。以下の表で確認してください。

大学学部（令和2年度）

（単位：円）

区分	学部・学科 被服学科	家政学部			文学部 日本文学科 英語英文学科 コミュニケーション 文化学科	社会情報学部 社会情報学科	人間関係学部 人間関係学科 人間福祉学科	比較文化学部 比較文化学科	備考
		食物学科		児童学科 ライフデザイン学科					
		食物学専攻	管理栄養士専攻						
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	387,500	387,500	387,500	382,500	372,500	377,500	372,500	372,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教育充実費	210,000	210,000	210,000	205,000	205,000	210,000	205,000	205,000	前期分 (後期分は前期と同額)
保 健 費	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	年額
栄養士専攻費		7,750	14,000						前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷害保険料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	入学時のみ
千鳥会費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学友会費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金 合 計	885,250	893,000	899,250	875,250	865,250	875,250	865,250	865,250	

（参考）

1年次後期分	597,500	605,250	611,500	587,500	577,500	587,500	577,500	577,500	例年9月に納入
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

2年次の納入金

授業料および教育充実費	1,215,000	1,215,000	1,215,000	1,195,000	1,175,000	1,195,000	1,175,000	1,175,000	年額
その他の納入金	15,100	30,600	43,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	毎年度若干の変動の可能性あり

3年次の納入金

授業料および教育充実費	1,235,000	1,235,000	1,235,000	1,215,000	1,195,000	1,215,000	1,195,000	1,195,000	年額
その他の納入金	15,100	30,600	43,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	毎年度若干の変動の可能性あり

4年次の納入金

授業料および教育充実費	1,255,000	1,255,000	1,255,000	1,235,000	1,215,000	1,235,000	1,215,000	1,215,000	年額
その他の納入金	15,100	30,600	43,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	毎年度若干の変動の可能性あり

短期大学部（令和2年度）

（単位：円）

区分	学部・学科	短期大学部				備考
		家政科			国文科 英文科	
		家政専攻	生活総合 ビジネス専攻	食物栄養専攻		
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	362,500	357,500	362,500	347,500	347,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教育充実費	210,000	205,000	210,000	205,000	205,000	前期分 (後期分は前期と同額)
保 健 費	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	年額
栄養士専攻費			14,000			前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷害保険料	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	入学時のみ
千鳥会費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学友会費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金 合 計	859,000	849,000	873,000	839,000	839,000	

（参考）

1年次後期分	572,500	562,500	586,500	552,500	552,500	例年9月に納入
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

2年次の納入金

授業料および教育充実費	1,165,000	1,145,000	1,165,000	1,125,000	1,125,000	年額
その他の納入金	15,100	15,100	43,100	15,100	15,100	毎年度若干の変動の可能性あり

（注）表中以外に以下の点にご注意ください。

- ア 実験実習の材料費およびオリエンテーション旅行費等は、実費を納入していただきます。
- イ 諸資格取得を希望する方は、入学後の所定の時期にそれぞれの課程履修費を納入していただきます。
- ウ 大妻コタカ記念会（同窓会）会費は、入学時から10年間分の会費です。

学生寮等

①大妻加賀寮（参考：平成31年度実績、令和2年度は改定予定）

【所在地・電話番号】東京都新宿区市谷加賀町2-4-31（都営大江戸線牛込柳町駅 徒歩約7分） tel.03-5579-2080

●千代田キャンパスまで徒歩約25分

大妻加賀寮は、親元を離れて学ぶ学生のための、本学専用の学生寮です。

詳細は、入学手続き類に同封される案内冊子でお知らせします。

本学ホームページで、大妻加賀寮の情報を発信していますのでご覧ください。

(<http://www.otsuma.ac.jp/campus/living/dormitory-about>)

募集人数	入寮期間 (入学時から)		入寮手続金（税込）					入寮手続金合計 (税込)			入寮後の経費（税込）			
			入寮費 (2年間)	学寮費 (4月分)			食費 (入寮日の 夕食から 4月30日 夕食まで)	学寮費 (月額)			食費 (月額)			
	大学	短大		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム
未定	2年。 その後 2年の 延長可 ★	2年	120,000円	72,000円	74,000円	76,000円	19,602円	211,602円	213,602円	215,602円	72,000円	74,000円	76,000円	(朝・夕 2食) 約19,000円

★入寮期間は入学時から2年としますが、更新手続きをすることで、更に入寮期間を2年延長することが可能で、最長4年在寮できます。入寮期間の延長には、再度入寮費（金額未定）が必要です。

- 寮室は、個室および個室付6人用シェアルーム、個室付6人用ワイドシェアルームです。
- 見学を希望する場合は、大妻加賀寮に予約をしてください。予約がなく来寮された場合は見学をお断りしています。
- 寮の管理を業者に委託しています。（24時間常駐）
- 入寮応募用紙は、入学手続き類に同封される案内冊子にあります。
- 光熱水費は、学寮費に含まれています。
- 学寮費は翌月分を毎月お支払いいただきます。
- 食費は翌月分を毎月お支払いいただきます。月の日数により食費は変動します。また、消費税率により異なります。（表は消費税率8%の場合）
- 入学後に入寮することは原則できません。

②学生寮以外のひとり暮らし用住宅、学生会館を希望する方へ

本学では、学生向けのマンション・アパート・学生会館の紹介業務を、株式会社大妻サポートに委託しています。大妻サポートでは、信頼のおける学生住宅紹介専門会社や学生会館運営会社と提携し、マンション・アパート・学生会館を紹介しています。詳細は入学手続き類に同封される案内冊子をご覧ください。

（注）株式会社大妻サポートは学校法人大妻学院の教育・研究の発展拡充と大妻生の皆さまの快適な学園生活をサポートするために大妻学院の100%出資により設立された事業会社です。

家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ

大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻と管理栄養士専攻および短期大学部家政科食物栄養専攻は、厚生労働省から栄養士養成施設としての指定を受けています。これらの専攻に入学した学生はいずれの専攻においても、所定の科目の単位を修得することにより卒業を要件として、所定の手続きを経て栄養士免許を取得することができます。

1. 家政学部食物学科

栄養士資格取得科目等

食物学科を卒業するためには、大学で授業を受け、単位を修得することが必要ですが、食物学専攻と管理栄養士専攻には「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うもの、学外の病院、事業所、保健所、会社などの給食施設で行うものがあります。

以下、参考として令和元年度入学生を対象に開講される実験・実習科目名と配当年次・単位数を表記します。

(1) 学内で行う実験・実習科目

〔食物学専攻専門科目〕			〔管理栄養士専攻専門科目〕		
生活環境学実験	1年次	1単位	生活環境実験	1年次	1単位
人体構造機能論実験	1年次	1単位	生化学実験	2年次	1単位
食品化学実験	2年次	1単位	人体構造機能論実験	1年次	1単位
食品学実験	2年次	1単位	栄養代謝実習	2年次	1単位
食安全学実験	2年次	1単位	食品学実験	1年次	1単位
栄養化学実験	2年次	1単位	食品化学実験	2年次	1単位
臨床栄養学実習	3年次	1単位	食安全学実験	2年次	1単位
応用栄養学実習	3年次	1単位	栄養学実験	2年次	1単位
食事設計論実習	2年次	1単位	ライフステージ栄養学実習	3年次	1単位
栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅰ	2年次	1単位
栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅱ	3年次	1単位
給食管理実習Ⅰ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位
給食管理実習Ⅱ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位
基礎調理学実習	1年次	1単位	公衆栄養学実習	3年次	1単位
調理学実習	1年次	1単位	基礎調理学実習Ⅰ	1年次	1単位
			基礎調理学実習Ⅱ	1年次	1単位
			食事設計論実習	2年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅰ	3年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅱ	3年次	1単位

★実験・実習科目は45時間の授業をもって1単位となります。

(2) 学外で行う実習

校外実習 3・4年次 1単位（食物学専攻の実習科目）

栄養士課程においては、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識および技能を修得することを目的として「給食の運営」に関し、1週間1単位以上を校外実習（物を対象とした業務）として必須としています。実習施設は、小・中学校、会社・事業所、社会福祉施設、自衛隊などです。

臨地実習Ⅰ 3・4年次 1単位 **臨地実習Ⅱ 3・4年次 3単位**（管理栄養士専攻の実習科目）

管理栄養士課程においては、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判断に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技能を修得するため、臨地実習（人を対象とした業務）4単位以上（校外実習1単位以上を含む）を必須としています。実習施設は、病院、保健所・保健センター、小・中学校、社会福祉施設、会社・事業所、自衛隊となっています。

2. 短期大学部家政科食物栄養専攻

食物栄養専攻では、学内でのカリキュラムに大量調理を行う給食管理実習や栄養化学・食品化学などの実験があります。さらに校外実習では、会社・事業所、保育所、老人福祉施設などで大量の給食作業を含む栄養士業務を学びますが、体力消耗や危険を伴う作業が含まれています。以上のことについて不安のある方は事前に実習・実験などを見学し、ご相談ください。

人間関係学部人間福祉学科を受験する方へ

大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科は、厚生労働省から介護福祉士養成施設としての指定を受けています。この学科に入学した学生は、必要な科目を履修することにより、卒業と同時に介護福祉士国家試験受験資格を取得できます。

卒業するためには、大学で授業を受け単位を修得することが必要ですが、人間福祉学科には「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づいて定められた多くの演習・実習科目があります。演習・実習科目は学内で行うもの、学外の社会福祉施設等で行うものがあります。

1. 学内で行う演習

(1) 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じて総合的に学習する。

(2) 生活支援技術 A-I、A-II、B、C、D、E

尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。

(3) 介護過程Ⅱ-A、Ⅱ-B、Ⅲ

学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

2. 学外で行う実習

(1) 介護実習入門 特別養護老人ホームで45時間の見学実習を行う。

(2) 介護実習Ⅰ 介護老人保健施設で90時間の実習を行う。

(3) 介護実習Ⅱ 障害児者施設で90時間の実習を行う。

(4) 介護実習Ⅲ 特別養護老人ホームで180時間の実習を行う。

(5) 介護実習Ⅳ 居宅介護サービス事業所等で45時間の実習を行う。

年間を通じて行います。学年暦では夏季・冬季・春季休業にあたる期間および休日・祝祭日であっても学外の施設で実習を行う場合があります。

カリキュラム改正について

令和2年度入学者からのカリキュラムについて、一部改正を検討している学科・専攻があります。詳細が決まり次第、本学ホームページでお知らせします。

入学予定者への課題・プレースメントテストについて

入学予定者に、入学までの期間を利用して各学科・専攻からの課題に取り組んでもらうことにしています（一般入試Ⅱ期および追加合格者は除く）。

課題の内容については、合格者に交付する「入学手続の手引」で連絡します。（本学ホームページにも掲載します。）高等学校等で学んだことを復習し、入学後の学習に役立ててください。

また、家政学部・文学部・社会情報学部・短期大学部は入学前に、人間関係学部は入学後に英語のプレースメントテストを実施します。

災害により被災した入学志願者に対する特別措置について

本学では、大規模自然災害で被災した入学志願者に対して、入学検定料や入学金の免除措置を講じています。各入学試験日から遡り、1年前までの期間に生じた災害で、本学が指定する地域に居住していた方が対象になります。対象となる災害・地域や申請方法、適用条件等は本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。ご不明な点については、広報・入試センター（千代田）までお問い合わせください。

履修地

千代田キャンパス

家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

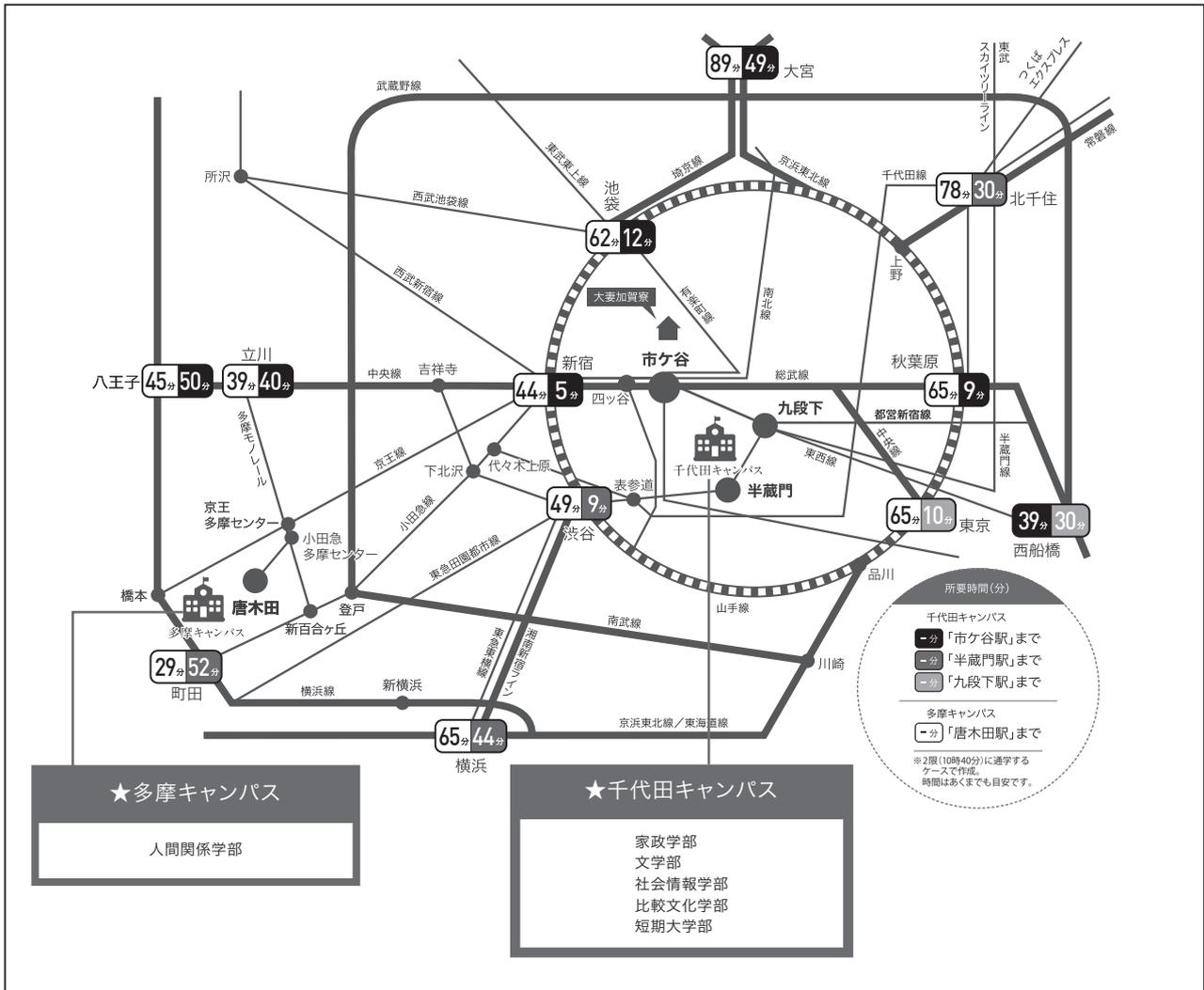
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

多摩キャンパス

人間関係学部

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

キャンパス・学生寮配置図



問い合わせ先

受付時間 千代田：平日 8:30～16:40 土曜日 8:30～13:10
多 摩：平日 8:50～17:00 土曜日 8:50～13:30

内容	部署名	tel.
入試全般	広報・入試センター（千代田） 教育・学事支援センター（多摩）	03-5275-0404 042-372-9970
授業内容等	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 短期大学部	教育支援グループ（千代田） 03-5275-6061
	人間関係学部	教育・学事支援グループ（多摩） 042-372-9988
奨学金、学生寮等	学生支援グループ（千代田）	03-5275-6071
授業料等	財務グループ（千代田）	03-5275-6031

千代田キャンパス 〒 102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地
多 摩キャンパス 〒 206-8540 東京都多摩市唐木田 2 丁目 7 番地 1